

資料 4

令和6年11月定例会（事前）
総務委員会資料
（企画総務部）

関西広域連合関係

1 第170回関西広域連合委員会（令和6年9月28日）配布資料（抜粋）

- (1) 大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について 2
（「大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会」として実施）

（その他事項）

- ・「第3期関西観光・文化振興計画（仮称）」中間案について

2 第171回関西広域連合委員会（令和6年10月24日）配布資料（抜粋）

- (1) 関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みの設置に向けた
提言について 2 3

（その他事項）

- ・大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について
- ・令和7年度国の予算編成等に対する提案（案）について

3 第172回関西広域連合委員会（令和6年11月21日）配布資料（抜粋）

- (1) 関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について 3 2
(2) 広域連合長選挙 3 4

（その他事項）

- ・大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について
- ・関西防災・減災プラン（総則編、地震・津波災害対策編）の改訂（中間案）について

令和6年9月28日
大阪・関西万博担当
(本部事務局)

大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について
(大阪・関西万博 関西パビリオン企画委員会)

【協議事項】

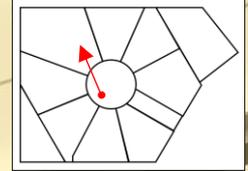
大阪・関西万博 関西パビリオンの取組状況について

- ・現場進捗状況
- ・大阪・関西万博の主な取組状況
- ・関西パビリオン各府県ゾーン等の取組状況

[資料]

- 別紙1 関西パビリオン現場写真
- 別紙2 大阪・関西万博の主な取組状況
- 別紙3 関西パビリオン各府県ゾーン等の取組状況

撮影日 令和6年9月中旬



関西パビリオン現場写真（3階 スタッフルーム）

撮影日 令和6年9月上旬



1. 海外パビリオンの状況



- 独自パビリオン：52か国
- 協会用意の単独館：16か国、3国際機関
- 協会用意の共同館：89か国、5国際機関

〈コモンズ-F〉（2か国）
 ・アルメニア、カザフスタン

〈コモンズ-A〉（28か国）
 ・イエメン、ウガンダ、エスワティニ、ガーナ、北マケドニア、ギニアビサウ、キルギス、ケニア、コソボ、コモロ、サモア、スリナム、スリランカ、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ソロモン諸島、トリニダード・トバゴ、トンガ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、ブルンジ、ボリビア、マラウイ、モーリシャス、ルワンダ

〈コモンズ-B〉（24か国）
 ・エチオピア、ガイアナ、ガンビア、コートジボワール、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジャマイカ、ジンバブエ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、ツバル、ドミニカ、ナウル、ハイチ、パラグアイ、東ティモール、フィジー、ベナン、ミクロネシア、モーリタニア、レソト

〈コモンズ-C〉（10か国）
 ・イスラエル、ウルグアイ、ガボン、グアテマラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、パナマ、モンテネグロ

〈コモンズ-D〉（25か国）
 ・アンティグア・バーブーダ、カメルーン、ギニア、キューバ、コンゴ、サントメ・プリンシペ、スーダン、赤道ギニア、タジキスタン、トーゴ、ナイジェリア、パキスタン、パレスチナ、ブータン、ブルキナファソ、ベリーズ、ホンジュラス、マーシャル諸島、マダガスカル、マリ、南スーダン、モルドバ、モンゴル、ラオス、リベリア

〈国際機関共同館〉（5国際機関）
 ・アフリカ連合委員会、イーター国際核融合エネルギー機構、国際科学技術センター、太陽に関する国際的な同盟、東南アジア諸国連合事務局

2. 主なトピックス

① 大阪・関西万博会場のシンボル「大屋根リング」がひとつにつながりました

大阪・関西万博会場のシンボルで、世界最大級の木造建築物となる「大屋根リング」について、2024年8月21日に木造建築部分が完成し、1周約2kmがひとつにつながりました。

9月13日には大屋根リング記念式典が開催され、三日月広域連合長、吉村委員、横山委員も博覧会協会副会長として出席。

今後はエレベーターやエスカレーターの設置、屋上緑化等の工事が実施される予定。



出典：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240821-01/>

② 大阪・関西万博 会期中のイベントカレンダーを公表！

博覧会協会HPにて、万博会場内の主要イベント施設で開催される多種多様なイベントについて、イベントカレンダー【別添】を公表。現時点で公表の許諾を得られたイベントは480件で、全て無料で開催。

詳しくはこちら → <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240903-01/>

③ 9月25日から超早割特別抽選（パビリオン・イベント観覧）の申し込み開始～受付は10月6日（日）まで～

博覧会協会は、「超早割一日券」の購入者を対象に、パビリオン・イベント観覧の予約ができる「超早割特別抽選」の申し込みを、9月25日（水）から10月6日（日）まで受付。（**関西パビリオンも申込可能**）

「超早割一日券」はお得な価格で購入できる上に、特典としていち早くパビリオン・イベント観覧の予約ができる「超早割特別抽選」に申し込みが可能。（「超早割一日券」の販売は、10月6日（日）まで）

詳しくはこちら → <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240906-06/>

大阪・関西万博イベントカレンダー

4月	EXPOホール「シャインハット」	EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」	EXPOアリーナ「Matsuri」	
13	(仮)THE Human Orchestra	シグネチャーオープニングイベント	開幕アーティストライブ <近日発表>	
14		トルクメニスタン 復活の詩		
15				
16		今後発表予定	海外音楽イベント	
17		今後発表予定		
18		今後発表予定		
19		今後発表予定	ライブイベント (仮)	
20		今後発表予定		
21			イラン	全世界・全世界を繋ぐ日本の伝統文化「ラジオ体操」 スペシャルナイトパルショー
22		【スイス】文化パフォーマンス	スイス	今後発表予定
23	EXPO KYOTO Meeting (仮称)	今後発表予定	今後発表予定	
24	今後発表予定	デンマーク 海外文化公演		
25	インドネシア	今後発表予定		
26		タイ	Japan Expo Paris in Osaka 2025	
27		ガイアナ		
28		パラオ		
29	今後発表予定	今後発表予定	アーティスト音楽ライブ <近日発表>	
30		今後発表予定	今後発表予定	

ND ナショナルデー SD スペシャルデー GCS 公式参加イベント TW テーマウィーク

EXPOメッセ「WASSE」		ギャラリーEAST	ギャラリーWEST	4月
《North》	《South》			
				13
			海外展示	14
				15
		いけばなの根源 池坊展		16
メディアコンテンツ 体験展示イベント				17
				18
			点字考案200年 視覚障害者の世界を体験する	19
				20
				21
		日本刀展 THE SAMURAI SWORD		22
				23
				24
				25
		煎茶道はここから始まった! - 花月電流お茶席体験		26
Japan Expo Paris in Osaka 2025	Japan Expo Paris in Osaka 2025		ひょうご国 HYOGO産を世界に発信する プロジェクト 2025	27
		濱野年宏一宗良中宮寺蔵 「聖徳太子絵伝四季園大扉風」 日本の美の神髄 茶室・桂離宮		28
				29
日本の魅力まるごと体験EXPO 【和歌山県・徳島県・香川県】	ANIME/MANGA/JAPAN CULTURE (仮)			30

*タイトルやイベント内容は現在予定されているもので、今後予告なく変更となる可能性があります。



大阪・関西万博公式主催イベント

One World, One Planet. [原典]

世界がもしも
ひとつの国(星)だったなら
会期中の日没後、毎日実施予定



会場全体の音響や映像装置、さらには来場者の持つデバイスなどが、まるでひとつの大きなまき物の輪郭のように連動し先り出す、世界中の想いを繋ぐ願いのモーメント。

THE HUMAN ORCHESTRA [原典]

それは、ひとりひとりの個性が奏でる
未来のオーケストラ
EXPOホールにて、開幕日より8日程度実施予定



多様な個性を持つ一人ひとりが、自分の個性あふれるオリジナリティのある音を奏で、その違いを認め合い、共鳴させることで、ひとつの美しい未来のオーケストラとなる。

※実施日の主な変更(案)として、上記2件を会期中、詳細は別途発表予定です。※企画内容は変更の可能性がございます。



未来社会ショーケース「アート万博」

「水」と「空気」のスペクタクルショー「アオと夜の虹のバラード」

大層橋リング内、南側の水面「ウォータープラザ」で行われる、
水、空気、光、炎、映像、そして音楽が織りなす水上ショー。
水上に、幅約200メートル、奥行約60メートル、ショーエリア面積約8,800㎡の巨大な舞台空間が誕生。
ウォータープラザにて、会期中の日没後、毎日実施予定



(写真・映像提供: サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社)



令和6年(2024年)9月28日
関西パビリオン企画委員会資料

大阪・関西万博に向けた滋賀県の取組(1)

万博会場内での取組

参加テーマ 「Mother Lake ～びわ湖とともに脈々と～」

関西パビリオン内「滋賀県ブース」展示

①エントランスムービー



万博会場の夢洲から、水の流れを
さかのぼりびわ湖へと案内する導入部

②メインショー



びわ湖を中心に脈々と受け継がれてきた滋賀の人々の
いとなみを、映像・音・光によるアートにより表現

ブース内の随所に 県産品を活用

県内企業の
技術や素材を
世界に発信!

- ・陶器製フレーム
- ・暗幕カーテン
- ・県産材ベンチ
- ・タブレットスタンド
等

世界初の空間演出を実現すべく、鋭意制作中!

※「キネティック・ライト・ビジョン」と「映像」による光の空間演出

関西パビリオン多目的エリア 滋賀魅力体験ウィーク～ Discover Shiga, Go Biwako ～

県内団体や企業、市町等の多様な主体の出展により、
ワークショップや体験ブースで滋賀を体感する機会を創出

日程：①令和7年6月24日(火)～29日(日)
②令和7年8月27日(水)～9月1日(月)



滋賀県デイ

～びわ湖サマークルーズ～

1,900名収容のホールを琵琶湖の学習船「うみのこ」に
見立て、湖上を周遊いただく設定で、文化芸術や伝統
芸能等を紹介するステージにより滋賀の魅力を発信

日程：令和7年7月24日(木)
場所：会場内EXPOホール(シャインハット)

イベント出展者・出演者の公募を実施中! 県民の皆様と一緒に創り上げます。



滋賀県内での取組

子どもたちの招待

対象：入場券が必要となる**満4歳から高校生**までの子どもたち

内容：**1人1回、入場料無料**（県が負担）

参加希望校に対しては、**万博会場の入場予約**や**バス手配**もサポートします。

県企画による
バスツアーも
催行!



教育旅行で参加されない場合には、**個人・家庭**からの申込みによっても参加可能!!

滋賀ミライEXPO (万博イベント)

令和6年11月2日(土)11:00~17:00

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで、機運醸成イベントを開催

- ・滋賀県出身の高橋ユウさん、JPさん他による万博トーク
- ・万博に出展する**県内ベンチャー企業**の紹介
- ・最新式人型ロボットや空飛ぶクルマの実機展示
- ・ひこにゃんら人気キャラクターによるグリーティング等

前日11/1(金)「マザーレイククルーズ2024」

【主催:関西歴史文化首都推進委員会】

琵琶湖の客船「ピアンカ」船上にて、関西二府四県の
歴史文化首都パワーを世界に発信するキックオフイベントを開催!

滋賀県版EXPOミュージアム

滋賀ならではの**地域資源**や**イベント**等を**ミュージアム**に見立て一体的に発信し、滋賀へいざないます。

しがっこWEB万博 (子ども向けサイト)

子どもたちの**未来や夢**をテーマにした**絵**をWEB投稿いただきバーチャル展示するとともに、会場内の催事等でも活用。また、**バーチャルでの万博体験**など、会場に行けない子どもたちにも万博に関われる機会を提供

いこうぜ♪滋賀・びわ湖 (観光キャンペーン)

令和6年9月21日(土)開始。

滋賀ふるさと観光大使である西川貴教氏を起用して、万博等を機に**滋賀への誘客キャンペーン**を展開



Tech Tour SHIGA

万博を機に、海外から来日される政府・ビジネス関係者に対して、**県内の視察先を提案・調整する相談窓口**を開設

新商品開発支援

万博等を機に、商工団体の経営指導員や専門家の伴走型支援により、**手土産等の新商品開発**を支援

出展イメージ

京都ブース（4/13～10/13）

展示と映像を中心に、土日祝日には来場者と出展者が交流できる実演やワークショップ、府内各地のイベント会場とを結んだ交流イベントなどを実施

多目的エリア（4/28～5/4、9/30～10/6）

ステージを活用した多人数が出演・参加する体験・交流・実演や、地域の物産や食品などを扱う物産展・食フェスなどを実施

京都ブースの特徴

- 文化・食・産業・環境・いのち・観光の6つの分野で、一定期間ごとに展示を入れ替えながら、「大阪・関西万博きよと基本構想」に定めるテーマ『一緒につくろう、京都の未来 - 伝統と革新で拓く -』に賛同いただいた出展者の方々と共に作り上げていくブース
- 彫刻家の名和晃平氏が創設したクリエイティブ・プラットフォーム「Sandwich」が空間ディレクションを行い、展示とデザイン・映像・音響を連動させたオンリーワンの空間を構築
 - ・ 4月に出展コンテンツの募集を行い、145件の応募
 - ・ 今後、出展コンテンツの磨き上げを進めるとともに、10月に開催する開催半年前機運醸成イベントにおいて、一部の出展コンテンツを含めた空間イメージを発表予定

提案例：黄金の茶室（久御山町）



京都ブース展示分野・展示テーマ

分野	展示テーマ	分野	展示テーマ
文化 4/13（日） ～6/1（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングイベント ・芸能・遊び ・漫画・アニメ・ゲーム ・京都の暮らしと文化 ・祭り 	環境・ 持続可能性 8/18（月） ～8/31（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・EXPO KYOTO ・未来ラボ（仮・案）
食 6/2（月） ～7/13（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・京料理・京野菜 ・お茶の京都・京菓子 ・酒どころ京都 ・広がる和食の多様性 ・未来の食をつむぐ 	いのち 9/1（月） ～9/21（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちを感じる ・いのちをはぐくむ ・いのちのミライ
産業 7/14（月） ～8/17（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・万博を支える京都企業 ・伝統産業イノベーター企業 ・スタートアップ ・けいはんな万博 	観光 9/22（月） ～10/13（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・まるっと京都 （オープンファクトリー、 ウェルビーイング、 お茶など）

※今後変更の可能性がります。

兵庫県ゾーン等での取組

万博期間中は3つの拠点を核に県内各地への誘客を促進するとともに、フィールドパビリオンをはじめ全県で事業を展開。

3つの拠点での事業展開

01 兵庫県ゾーン等万博会場

兵庫県ゾーン『ミライバス-体験型SDGs空間-』



ミライバス

<メインショー>

- ・臨場感が味わえる約10分の動画放映
- ・テーマは「兵庫は続ける、乗り越える」



<ウェディングゾーン>

- ・子どもたちが制作したコウノトリの折り紙
- ・フィールドパビリオンを表現したステンドグラスアート

コウノトリの回廊 ステンドグラスの回廊

多目的エリアでのウィークイベント



多目的エリア

5/19(月)～ 5/25(日)	日本酒をはじめとする兵庫の魅力など、フィールドパビリオンを発信するイベント等
9/23(火)～ 9/29(月)	他府県と連携し、地域の魅力を国内外に発信するイベント

フィールドパビリオンフェスティバル

フィールドパビリオン(FP)プレイヤーが万博会場で自らの取組を発信

期間 R7年5月26日(月)～30日(金)

場所 ギャラリーWEST等

実施イメージ FPの取組を体験できるワークショップ、ステージイベント等

02 ひょうご EXPO TERMINAL



期間 万博期間中

場所 兵庫県立美術館
ギャラリー棟
3階ギャラリー



実施イメージ

- ・フィールドパビリオンの体験メニューをハンズオンで展示するゾーン
- ・子どもたちが描いた「未来のひょうご」の絵画をプロジェクションマッピングで投影するゾーン

03 ひょうご 楽市楽座

期間 2025年4月13日(日)～
10月12日(日)の週末

場所 尼崎フェニックス事業用地
(「尼崎万博P & R駐車場」
隣接地)



実施イメージ

- ・兵庫五国の魅力を発信する県産品マルシェ
- ・ひょうごフィールドパビリオンPR
- ・県内各地のプレイヤーによるステージ等

兵庫県ゾーン等での取組

3つの拠点をつなぐ取組

ひょうごフィールドパビリオンの展開

地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を展開

フィールドパビリオン認定

230件

(R6.6.21時点)

プレミア・プログラム選定

うち **9件**

(R5.11.30時点)



これまでの取組実績

認定プログラムへの磨き上げ、プロモーション
両輪での伴走型支援を実施

国内向けプロモーション	利用者数の増加
モニターツアー	ツアー造成の進展
海外向けプロモーション	インバウンドの取り込み
磨き上げ研修	ネットワーク化による相乗効果
情報発信	認知度向上

今後の展開

- ・SNSやインフルエンサー活用等国内外への戦略的なプロモーション
- ・「フィールドパビリオン県民モニター事業」の推進 など

ひょうごEXPO weekの展開



県独自2分野を含む10テーマ(1テーマ概ね1週間)を設定し、テーマに沿った「県民参加型」イベントを実施

イベント
要件

- ①各テーマの趣旨に沿った取組
- ②県民が参加し、対話・交流を行う取組
- ③取組を内外へ発信するもの

<県独自2テーマ>

災害からの
創造的復興

ひょうごの
成長産業と
地場産業

神戸ファッション協会による地場産業の魅力発信

兵庫県のテーマウィークイベントとして実施

- ・期間：R7年4月26日(土)～30日(水) 各日9時～21時
- ・場所：ギャラリーWEST (屋内約300㎡、屋外約300㎡)

ひょうごEXPO 41の展開



市町・地域単位で姉妹都市交流や関連催事等を実施

実施日

- ・万博期間中、1市町につき1日
- ・複数市町で実施の場合、合計日数内

事業例

- ・市制周年記念イベント
- ・姉妹都市等交流イベント
- ・地場産業・芸術文化・観光・食のPRイベント等



奈良県 2025年万博会場内における催事

※現段階の案であり、内容を変更する場合があります

①関西パビリオン多目的エリア

開催期間：令和7年4月14日～27日

催事内容：①市町村等PRブース

→県内全市町村が参加し、PRブースやワークショップを展開

②観光・歴史文化関連展示

→観光アプリの紹介、文化財のレプリカを活用したインクルーシブな展示

③共創チャレンジ等団体の展示

→共創チャレンジ団体の取組を紹介

④奈良の食PR

→県内大学と連携した奈良の食材PR



ブース出展イメージ

②EXPOアリーナ(Matsuri)

開催期間：令和7年5月27日～29日

催事内容：①メインステージ・センターステージ
(県無形文化財の祭等を披露)

②奈良の食を味わうブース

③クラフトフェア・ワークショップ

④奈良の木茶席

⑤共創ステージイベント



全体俯瞰図



エントランス



クラフトフェア

③「Dialogue Theater -いのちのあかし-」 河瀬テーマ事業プロデューサーとの連携事業

○NARative撮影地協議会 連携イベント

開催場所：EXPOホール (シャインハット)

開催期間：令和7年6月12日

催事内容：撮影した若手監督や撮影に協力した地元関係者と河瀬監督との対話型イベント等を実施

○森の集会所

開催期間：令和7年9月中旬の2週間程度

催事内容：①市町村等PRエリア

②1970年万博ピアノの展示

③地元商工団体等との連携事業



(c) Naomi Kawase / SUO, All Rights Reserved.

2025年 大阪・関西万博（関西パビリオン和歌山ゾーン）

テーマ

和歌山百景 — 霊性の大地 —

〔 神話の時代から続く和歌山の精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「和歌山百景」として表現 〕

コンセプト

“上質”のつまった和歌山

出展意義

和歌山が育んできた精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を実現する日本的モデルとなり得ると考え、これを展示によって表現

展示構成

3つのコンテンツにより構成

●映像コンテンツ：

紀伊山地の巨木も彷彿とさせる映像タワー「トーテム」に、自然風景や神話、歴史などを映し出す。

●ステージコンテンツ：

中央ステージにて「和歌山の今を生きる人」に焦点を当て、多様なパフォーマンス等を発信

●フードコンテンツ：

カウンターバーにて、豊かな和歌山の食の魅力を提供



【鳥取県】 関西パビリオンの取組状況

【導入展示ゾーン】

まんが王国3巨匠（水木しげる先生、青山剛昌先生、谷口ジロー先生）のキャラクター像や風紋を施した巨大な壁で来場者を迎えます

鳥取県観光ウォール

県内の観光情報を網羅
QRコードを使って、観光情報を持ち帰り

まんが王国とっとり立体像

まんが王国とつとりを代表する3巨匠のキャラクター立体像で来場者をお出迎え

まんが王国とっとり紹介ウォール

まんが王国とつとりの取組紹介や作品グッズなどを展示



【メイン展示ゾーン】鳥取無限砂丘

- 鳥取砂丘の砂を床面に敷き詰め、周りを鏡張りにすることで無限に広がる鳥取砂丘を表現
- 虫眼鏡型デバイスで、ARマーカを読みとり観光・グルメ・工芸など鳥取県の魅力アイテムを発見
- 砂の床面に映し出すプロジェクション映像の体験



鳥取で利用できる特典(施設割引やドリンクサービスなど)を提供

万博会場の色々なイベントに参加！【万博期間中の主催イベント等】

7/1

今日は一日鳥取県 ～まんが王国とっどりの魅力～

トークショーやライブステージ、伝統芸能披露で鳥取県の魅力を発信！（場所：EXPOホール）

7/15～21
8/19～25

関西パビリオン・多目的エリアでの鳥取県催事

産業展示、物産展、民芸、障がい者アート、市町村郷土芸能PR等



8/6

「ジャマイカ」ナショナルデー

国際交流を行う「ジャマイカ」のナショナルデーに参加！合唱や演奏、ダンス等を披露。

10/
8～11

障がい者の文化芸術国際フェスティバル

鳥取県からは、「じゅう劇場」(演劇)や美術作品を出展

(場所：EXPOホール【舞台芸術】、ギャラリーWEST【作品展示】)

鳥取県がまるごとテーマパークに！

「とっとりリアル・パビリオン」展開中！

- 鳥取県を万博のサテライト会場「とっとりリアル・パビリオン」として自然、文化、食など300を超えるアトラクションを国内外の人が体感！
- 万博200日前を記念し「とっとりリアル・パビリオンキャラバン隊」を9/25結成！首都圏、関西圏等の旅行会社やイベント等においてPR
- 兵庫県の「ひょうごフィールドパビリオン」と連携した周遊ルートの設定
- 国内外に向けSNS、海外インフルエンサー等による観光PRの実施

とっとりリアル・パビリオンの魅力を紹介するサイトも展開中！



大阪・関西万博に向けた徳島県の取組状況



自治体参加催事：阿波おどり



世界が踊る日
～多様性が織りなす踊りの輪
徳島の阿波おどり～

【日程】2025.5.2(金)、3(土)

【場所】EXPOアリーナ「MATSURI」ほか

【説明】1970年の大阪万博でも披露し、今や日本を代表する踊りとなった「阿波おどり」。世界中から集う多様な人々を一つに繋げる「輪」をコンセプトに、会場を巻き込んだ形で一体感を創出。



テーマウィーク：未来への文化共創



紡がれ、つなげる
徳島の文化

【日程】2025.4.30(水)～5.3(土)

【場所】EXPOメッセ「WASSE」

【説明】「文化体験カフェとくしま（仮）」を開催。県産品の使い心地、手触り、美味しさなどを感じていただきながら、くつろげる“心地いい徳島”を提供。



徳島パビリオン



提供：2025年日本国際博覧会協会

関西パビリオン催事（7・10月）



提供：
関西広域連合

【日程】2025.7.23(水)～28(月)／2025.10.8(水)～13(月)
【説明】徳島の自然・文化・産業の発信や未来を担う若者の育成を目的として実施予定。

【県内への誘客】まるごとパビリオン



【説明】2025年は、「大阪・関西万博」のほか、「食育推進全国大会（6月）」、「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)(7月)」など大型イベントが相次いで本県で開催される。この好機に、戦略的なプロモーションを行い、本県への誘客を促進。

【内容】

- ◇ターゲットを定め、集中的かつ効果的な徳島プロモーションを展開。
- ◇徳島阿波おどり空港の国際線就航を好機とし、関西～徳島の高速バス料金等の割引により、「徳島から万博へ」、「万博から徳島へ」の人の流れを創出

子どもたちの教育旅行・機運醸成



【対象】小・中・高（高専1～3）・特別支援学校の児童・生徒
【内容】

- ◇教育旅行における万博の入場チケット代を支援。
 - ◇万博の事前学習として学校への出前授業を実施。
- その他、取組進行中。

徳島パビリオン（関西パビリオン常設ブース）について



TOKUSHIMA
OSAKA, KANSAI

水とおどる

四国山地に降る雨が、吉野川をはじめとする大小の河川となり、徳島の暮らしを支えてきました。

「水の流れ」は時に台風により氾濫を起こしましたが、徳島の人々は立ちすくむことなく、洪水が運んできた土砂を藍染料「すくも」づくりに上手に利用します。

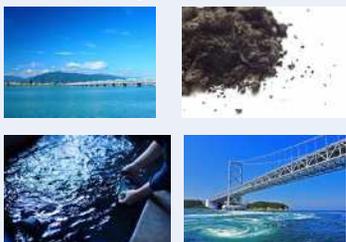
このようにして、しなやかに困難な状況を受け入れ利用することで、「新たな価値へと変えていく」徳島の有り様は、阿波おどりの「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々」という掛け声からも感じられます。

こうした「水の流れ」と合わせ、徳島の有り様を「水とおどる」と表現し、空間デザインのテーマとしました。

テーマ

キーカラー

「藍色」を中心とした青系で
“水の中”をイメージ



デザインモチーフ

徳島の「伝統工芸」

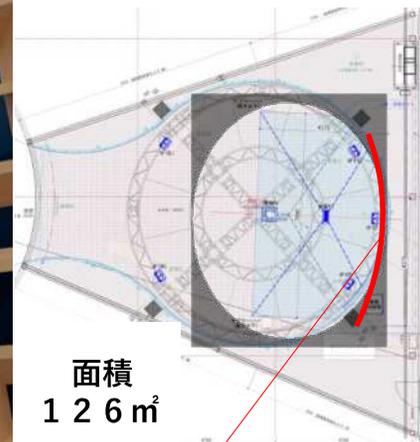


木工 和紙 藍染

スペース全体を展示物として
手触りや匂いなど
“五感”で徳島を体感



天井には「鳴門の渦潮」を
イメージした造作を設置



面積
126㎡

バーチャル観光エリア

実写映像及びCG等のデジタル技術を用いて構築された、ブースの来場者に徳島観光の仮想体験を提供する映像空間コンテンツ

福井県ゾーンの概要

恐竜王国福井

Dinosaur Kingdom FUKUI

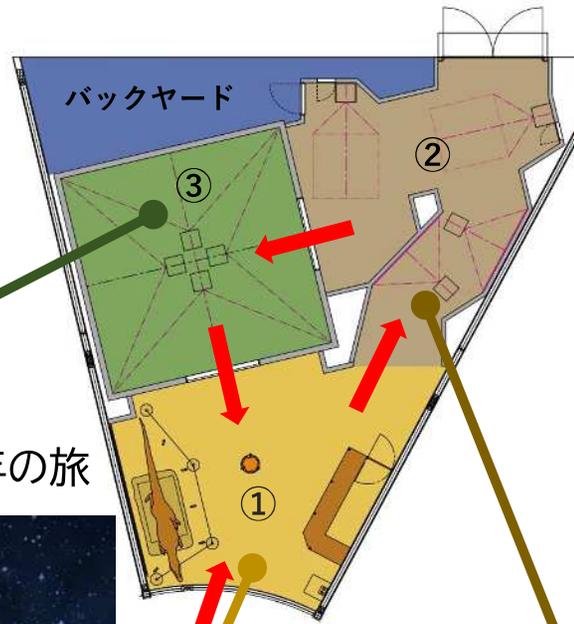
③時空の旅

大迫力の4面型VR映像空間

恐竜の繁栄、絶滅から未来への約2億年の旅



【画像は制作段階のイメージです】



②発掘体験

懐中電灯型デバイスを用いて
恐竜化石を発掘

①ツアーゲート

実物大の
フクイラプトルが
来場者をお出迎え



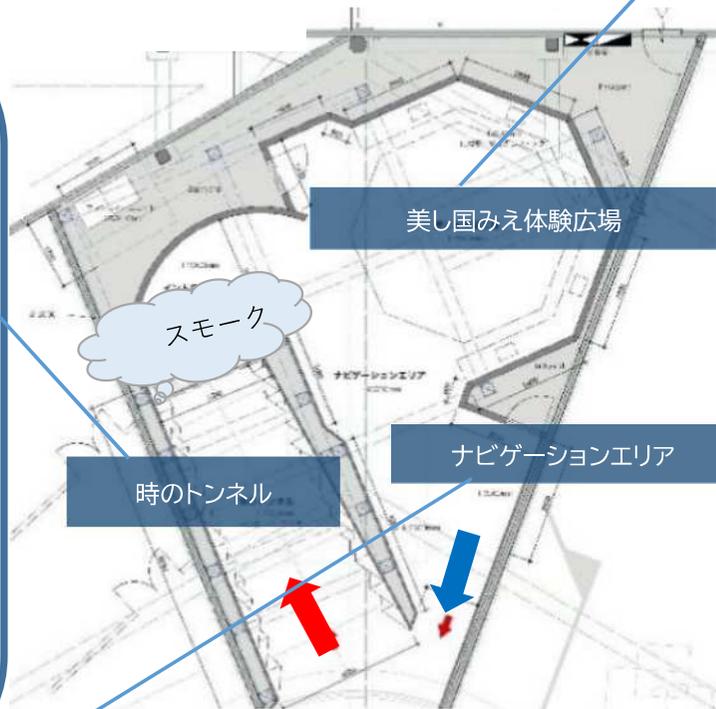
1 「三重県ブース」

テーマ：日本のこころの原点 ～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

三重県では、古くから、多様な人々が暮らし、美しい自然や歴史・文化を大切にしながら、知恵と工夫で常に新しいものを生み出し、発展してきた。この「こころの原点」とも言える物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間にて演出。

① 出会う ～時のトンネル～

「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開



② 知る ～美し国みえ体験広場～

県内5エリアごとの魅力を体験。特集テーマを設け期間限定の特別展示、市町が参加し各地域の魅力を発信。

特集テーマ

熊野古道	常若
自然	歴史・文化
産業	食

発表済み



< 展示発表済のもの >

自然

自由の鐘



常若

内宮正殿鯉木



③ 旅立つ ～ナビゲーションエリア～

コンシェルジュを配置し、来場者の興味関心に応じた三重県の観光情報を提供



2 万博会場内で催事を実施

① 自治体参加催事

テーマ(仮):知らなかった三重が見えてくるMATSURI in MIE 2025

- ・県内5地域から祭りを選定し、祭りの特色を十分に伝えられるような展示・実演を実施
- ・三重県物産展・県産品販売・三重県プロモーションを実施し、本県の魅力発信、誘客を図る。



② 多目的エリアイベント

テーマ(仮):美し彩り三重バザール

三重県の「ヒト・モノ・コト」との賑わいあふれる交流を軸に多彩な食文化の「実演・対面・試食・体験」に拘ったリアル体験型催事を実施。



3 校外学習等を支援

次代を担う子どもたちが万博会場でSDGsや世界の文化等を学ぶ校外学習等を支援します。

子どもたちには、三重県ブースで、改めて、三重県の自然や歴史文化、各地域の魅力に触れてもらいます。

- 対象:県内小中高(約18万人)
- 支援内容:チケット代全額
(小中 1,000円、高 2,400円)



4 機運醸成の取組を実施

全国各地のイオンの他、開幕200日前にあわせて9/21~26には東京日本橋の情報発信拠点「三重テラス」で万博PRブースを設置するなど、多くの地域で機運醸成に取り組んでいます。



三重テラスでの万博PRブース



イオンでの万博PRブース

関西広域連合と国とが協議により調整を行う新たな枠組みの設置に向けた提言について



関西広域連合

令和6年10月24日
本部事務局

1 趣旨

関西広域連合では、令和4年及び令和5年に第33次地方制度調査会の審議に向け、都道府県域を越える広域自治体行政の強化について関西経済連合会と共同提言を実施した。

その結果、同調査会答申において、設立以来13年にわたり大都市圏における都道府県を越えた広域的な課題への対応の取組を積み重ねてきた関西広域連合の実績が評価され、関西圏について、東京圏の都県等と国とが協議により調整を行う枠組みが考えられるのと同様、「新たに何らかの枠組みを設けることも考えられる」との記述がなされた。

この答申に示された関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みの設置を求めるため、提言を実施する。

2 提言概要

項目	概要
1 大規模災害や感染症まん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態に関連する広域課題における関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みについて	<ul style="list-style-type: none">・大規模災害や感染症まん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態の発生時に協議・調整を行う枠組みを設けるべき・首都直下地震等により首都機能が麻痺する事態に備え、関西圏に首都機能バックアップ構造を構築することについても、同枠組みにおいて協議すべき・府県域を越える大規模災害等に備えた取組を進めている関西広域連合と、防災対策等についても、平時から同枠組みにおいて調整を行っていくべき
2 その他の広域課題における関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みについて	<ul style="list-style-type: none">・平時から広域課題に取り組んでいる関西広域連合と、様々な課題について協議により調整を行う枠組みを設けるべき
別表	関西広域連合と国が協議により調整を行うその他の広域課題の具体例について
参考資料	関西広域連合の主な取組実績

3 今後の予定

三日月広域連合長、連合委員が関係府省に提言活動を実施予定（調整中）

※10月22日付け、総務省及び内閣府宛て提言書送付

関西広域連合と国が協議により調整を行う 新たな枠組みについて

関 西 広 域 連 合

第33次地方制度調査会においては、新型コロナウイルスによる感染症危機に際し、従来想定されていなかった事態が相次ぐ中、国と地方公共団体の間や地方公共団体相互間の役割分担、情報共有・コミュニケーションのあり方などについて様々な課題が指摘されたことから、大規模災害や感染症のまん延等の対応における国と地方のあり方が議論された。

令和5年12月の同調査会答申では、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態への対応に当たり、大都市圏における都道府県の区域を越える調整について、東京圏では、関西広域連合のように都県を越えた圏域の水平的な調整を行う枠組み、国が都県を越えた圏域の調整の役割を果たすこととする枠組み、都県等と国とが協議により調整を行う枠組みなどが考えられ、このような仕組みは、平時から設け、体制の構築とともに運用の実効性を確保しておくことが必要であるとし、関西圏についても、東京圏について考えられる枠組みと同様、新たに何らかの枠組みを設けることも考えられるとされている。

関西広域連合は平成22年12月1日の設立以来、7つの広域事務¹及び広域的な課題に関する企画調整において実績を積み重ねてきた。例えば、広域防災におけるカウンターパート方式による被災地支援²の実施、広域医療におけるドクターヘリの共同運航の実施のほか、新型コロナウイルス感染症対応における広域的な医療人材の派遣や医療資機材の融通の実施など、非平時も含め府県域を越えた対応に取り組んできた。このような関西広域連合の取組実績は、同調査会答申においても評価されているところである。

そこで、大規模災害や感染症まん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態の発生時への対応及びそれらの事態に関連する広域課題への対応について、日本で最初、唯一の府県域を越える広域自治体である関西広域連合と国が協議³により調整を行う枠組みを設けるべき旨、さらに、平時からの広域課題についても、関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みを設けるべき旨、次のとおり提言する。

1 大規模災害や感染症まん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態に関連する広域課題における関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みについて

関西広域連合は設立以来、構成団体の長を委員とする広域連合委員会を原則毎月開催し、非平時も含めその時々々の広域的な課題に対応してきた。特に新型コロナウイルス感染症対応では、令和2年3月2日の新型コロナウイルス感染症対策本部設置以来43回にわたる対策本部会議を実施し、構成団体間での情報共有だけにとどまらず、府県市民に対する統一メッセージの発出や国への要望・提案活動の実施、広域的な医療人材の派遣や医療資機材の融通のほか、関西の経済団体との連携など、非平時においても府県域を越えて対応に取り組んだ。

¹ ①広域防災、②広域観光・文化・スポーツ振興、③広域産業振興、④広域医療、⑤広域環境保全、⑥資格試験・免許等、⑦広域職員研修

² 平成23年に発生した東日本大震災において、関西広域連合が全国に先駆けてカウンターパート方式による支援を実施、大規模広域災害に対する支援モデルを確立

³ 事例として、平成24年、原子力発電所の安全確保と再稼働について細野原発事故収束・再発防止担当大臣等と関西広域連合委員会において議論した実績がある。

このような実績を踏まえ、大規模災害や感染症まん延等の国民の安全に重大な影響を及ぼす事態の発生時には、関西圏として一体的な対応を行うため、関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みを設けるべきである。

その上で、首都直下地震等により首都機能が麻痺する事態に備え、同時に被災する可能性が低く、国の地方支分部局、企業の本社、大学・研究機関等が集積し、首都圏や国内外との交通輸送手段が充実している関西圏に首都機能バックアップ構造を構築することについても、この枠組みを活用し、協議すべきである。

また、「関西防災・減災プラン」を策定し、南海トラフ巨大地震等、府県域を越える大規模災害等に備えた取組を進めている関西広域連合と、平時からこの枠組みにおいて、防災対策等について調整を行っていくべきである。具体的には、事前防災から復旧・復興までの一連の災害対策を担う専門性を有した「防災庁」の創設、大規模災害時の国による主体的な物資の配備、関西に集積している世界文化遺産や国宝、歴史・文化遺産に関する防災対策や文化財の復旧対応、訪日外国人への対応などについて、協議・調整を行っていくべきである。

なお、新型コロナウイルス感染症対応においては、国と地方公共団体等の間で情報共有・コミュニケーションのあり方など課題が指摘されたところである。平成12年の地方分権一括法の施行により、国と地方の役割分担の明確化、機関委任事務制度の廃止、国の関与のルールが構築されたことを尊重し、国と地方の対等な関係が損なわれることのないよう非
平時だけではなく、平時から地方と十分なコミュニケーションを確保すべきである。

2 その他の広域課題における関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みについて

関西広域連合では大規模災害や感染症のまん延等非平時への対応だけではなく、平時から広域課題に取り組み、地域自らが政策の優先順位を決定・実行できる分権型の体制を構築するとともに、関西が国土の双眼構造の一翼を担うことを目指している。関西広域連合の取組を更に前進させるためにも、別表に示すような様々な課題について、関西広域連合と国が協議により調整を行う必要がある。

関西広域連合が日本で最初、唯一の府県域を越える広域自治体としてこれまで実績を積み重ねてきたこと、また、構成団体の長を委員とし原則毎月開催する広域連合委員会の枠組みがあることを踏まえ、関西広域連合と国が協議により調整を行う枠組みを設けるべきである。

令和6年10月22日

関西広域連合

広域連合長 三日月 大造

(別表) 関西広域連合と国が協議により調整を行うその他の広域課題の具体例について

	広域課題	協議する内容
(1)	国土の双眼構造の実現	<p>我が国の中枢機能は首都圏に一極集中している。首都にいかなる事態が発生しても、首都中枢機能が継続できるよう、平時から地方に機能・権限を分散するなど必要な措置について、国と協議をする。</p> <p>①首都機能バックアップ構造の構築【再掲】</p> <p>②政府機関等の移転</p> <p>③大規模災害に備えた「防災庁」の創設【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震、首都直下地震など国難レベルの災害に備え、防災庁の創設が必要である。 <p>④国土の双眼構造を実現する社会基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外交易や国内広域連携の窓口となる空港、港湾など社会基盤の果たす役割は大きく、関西が有するポテンシャルを最大限発揮する必要がある。 <p>⑤大阪・関西万博の開催を契機とした更なる規制緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流・建築業の人手不足、イノベーションの妨げとなる規制（いわゆる「空飛ぶクルマ」を巡る航空規制など）の存在、出入国管理の問題など、現行制度の中では克服できない、新たな課題が発生しつつある。 <p>⑥地方も国の立法過程に関与できる仕組み（地方自治法で全国知事会等に認められている国への意見申出や国の回答義務など）の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進展する中、各自治体は限られた人材と財源で地域運営を行う必要があるが、法により新たに自治体の責務・事務が規定されるものが多く、今後も適切な自治体運営が継続できるか懸念がある。
(2)	多極分散型で強靱な国土の形成	<p>多極分散型国土の形成とその過程にある広域自治体の設置促進や政府関係機関の地方分散等について、関西の視点から抜本的な議論を展開する場とする。</p> <p>①都道府県域を越える広域自治体の設立促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みや実情に合わせた独自の施策を広域的に展開できるように広域連合制度の抜本的な制度拡充を行い、都道府県域を越える広域自治体の設立を促進する。 <p>②政府関係機関の地方分散及び「防災庁」の創設【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京一極集中の是正及び首都機能のバックアップ構造の構築のため、政治、外交、行政、経済等の機能・権限を平時から地方に分散する。 <p>③地方インフラ網の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人流や物流を一層活性化し、また国際競争力を強化するため、首都圏に集中する国際便の分散等により地方空港の充実強化を図る。 ・地方同士を繋ぐ道路や鉄道について、日本全土で交通網を形成しリダンダンシーの確保を図る。
(3)	人口減少社会への対応	<p>①行政サービス維持に向けた行政職員の人手不足解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い職員の確保が困難となってきたことから、行政サービスの維持に向けた広域的な人材共有など検討が必要である。 <p>②インフラ設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路や水道などのインフラ設備を維持するためには継続的な財政支出が必要であるが、人口減少に伴う税収の減少が見込まれる中、緊急時の人員・物資輸送ネットワークとしてのインフラをどのように維持していくか検討が必要である。

		<p>③地域交通の維持確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う公共交通機関利用者の減少により赤字路線が増加し、地域交通の維持確保が困難になりつつある中、緊急時の人員・物資輸送ネットワークとしてどのように維持していくか検討が必要である。 <p>④子育てしやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、少子化の更なる進展が見込まれる中、仕事も家庭も大切にしながら働き続けることができ、無理なく子育てができる環境づくりや、妊娠、出産、育児まで子育て世帯に対する支援について協議する。
(4)	人材の確保	<p>①福祉人材の給与水準の引上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公定価格の地域区分等により隣接自治体間で給与水準が異なり、人材確保等に支障を来している地域については、現行の水準以上に公定価格の地域区分を見直す必要がある。 <p>②外国人材の確保支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済を支える人材が不足する中、地方において産業を維持・発展させていくためには、優秀な外国人材を呼び込むことが重要となることから、地方自治体の取組に対する積極的な支援について協議する。
(5)	国・自治体の枠組みを越え、越境漂着する海洋ごみへの対処	<p>関西広域連合では「プラスチックごみ対策の先進地域・関西」の確立に向け、プラスチック対策検討会を設立し、関西広域による取組み（発生源対策・排出抑制策）を進めている。令和元年6月のG20大阪サミットにおいて首脳間で共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を起点とする海洋プラスチックごみ対策を加速させるためにも、今後の活動のあり方を国と協議する。</p>
(6)	オーバーツーリズム対策	<p>コロナ後の訪日観光客の増加に伴い、交通渋滞や違法駐車などによる地域住民の生活に影響が生じている。地域の生活を守りつつ、持続的にインバウンドを受け入れるための対策が必要である。</p>
(7)	国民スポーツ大会の見直し	<p>大会開催に係る開催地の財政面・運営面の負担が大きく、財政負担のあり方やブロック別開催を含めた見直しが必要である。</p>

関西広域連合の主な取組実績

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

関西広域連合では、連合管内で初めて感染者が確認された令和2年1月28日に新型コロナウイルス感染症対策準備室、3月2日に同対策本部を設置し、43回にわたる対策本部会議での情報共有や、関西防災・減災プラン（感染症対策編）に基づき申し合わせを行った広域的な医療の連携の実施など、府県域を越えて新型コロナウイルス感染症への対応に取り組んだ。

取組	具体的な内容
情報共有・発信	<ul style="list-style-type: none"> ○対策本部会議 関西圏における感染者の状況、感染経路、措置状況のほか、疫学調査等の医療対策、経済対策等についても情報共有 ○統一メッセージの発出 府県市民等に対し、感染症防止対策の徹底や、外出・往来の自粛等を呼びかける統一メッセージを発出 ○国への要望・提案 感染症対策の現場で直面する課題について、全国知事会等と連携を図りながら、適時に国へ要望・提案を実施した結果、雇用調整助成金の助成率・上限額の引き上げや、医療機関の診療報酬の加算などの制度改善が実現。また、国の補正予算により自治体が対策を実施するための新たな交付金制度を創設。
医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ○医薬品・医療資機材及び医療人材の広域融通調整 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県から京都市にサージカルマスク10,000枚を支援 ・鳥取県から滋賀県及び兵庫県にフェイスシールド2,400枚を支援 ・連合管内から大阪コロナ重症センターに看護師17名を派遣 ・和歌山県から大阪府にDMAT 医師6名を派遣 ○検査の広域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府が和歌山県から150検体の検査を受入れ ○広域的な患者受入体制の連携 広域医療局が一元的調整窓口を担う「広域患者受入調整方針」を策定 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県が新型コロナウイルス感染症の感染者以外の重症患者5人を受入れ
経済団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○関西の経済団体との連携 関西広域連合からの依頼に基づき、関西経済連合会及び関西経済同友会は、会員企業に支援を呼びかけ、医療物資・資機材の増産・流通拡大にとどまらず、マスクや防護服など多数の物資を構成団体に提供 ○関西経済連合会からの寄付金 関西経済連合会では「関西・新型コロナウイルス医療体制支援基金」を設立、会員企業に拠出を呼びかけ、構成団体2府6県に対し寄付を実施。寄付金は、検査用医療機器や感染者の治療・搬送に必要な機器、医療従事者向けの感染防止用医療物資の購入経費に充当。

(2) 大規模広域災害への対応

関西広域連合では、地震・津波、風水害、原子力及び感染症（新型インフルエンザ等及び家畜伝染病）の大規模広域災害に対応するため「関西防災・減災プラン」を策定しており、構成団体も同プランと地域防災計画との整合性に十分留意することにより、同プランの実効性を確保している。

この枠組みの下、新型コロナウイルス感染症への対応以外の大規模広域災害への対応も積み重ね、関西で発生した災害への対応だけでなく、関西以外の地域への応援も実施している。

区分	応援・受援内容
東日本大震災(H23)	<ul style="list-style-type: none"> ○カウンターパート方式による支援 全国に先駆けてカウンターパート方式による支援を実施、大規模広域災害に対する支援モデルを確立 ○人的支援（R5.11.1現在） 短期及び中長期派遣 累計 611,356人・日 ○構成団体への避難者受入（R5.11.1現在） 公営住宅等 1,484人 ○物的支援（H23年度末まで） アルファ化米 約26万食、飲料水 約46万本、毛布 約64千枚、簡易トイレ 約21千基 など
熊本地震(H28)	<ul style="list-style-type: none"> ○対応概要 応援・受援調整室を設置するとともに、熊本県庁内に現地支援本部、各町に現地連絡所を設置し、支援体制を構築 ○人的支援（R2年度末まで） 短期及び中長期派遣 累計 35,648人・日 ○物的支援 アルファ化米 約33万食、毛布 約9万枚、簡易トイレ 約3千基 など
平成30年大阪府北部地震	<ul style="list-style-type: none"> ○対応概要 発災と同時に応援・受援体制を構築し、大阪府内の被災地を支援 ○人的支援（H30.7.6まで） 延べ401人・日 ○物的支援 ブルーシート 3千枚を大阪府内8市に配布
平成30年7月豪雨	<ul style="list-style-type: none"> ○対応概要 災害対策本部を設置し、カウンターパート方式による支援を実施 ○人的支援（H30.7.8～9.10） 延べ3,169人・日
令和6年能登半島地震	<ul style="list-style-type: none"> ○対応概要 全国知事会及び中部圏、指定都市市長会等と連携し、カウンターパート方式による被災市町に対する支援を実施 ○人的支援（R6.6.11現在） 短期及び中長期派遣 延べ100,191人・日 ※保健師、DMAT、消防等を含む ○物的支援（R6.6.11現在） 食料 約50万食、飲料水 約56万本、毛布 約21千枚、ブルーシート 約21千枚 など

	○その他支援 ・被災者の受入可能戸数 1,677戸（R6.6.11現在） ・給水・上水道復旧等支援
--	---

（3）ドクターヘリの一体的な運航体制

関西広域連合では、平成23年4月からドクターヘリの共同運航を開始し、令和6年4月からは新たに奈良県ドクターヘリを加えた管内8機体制でドクターヘリを効果的かつ効率的に運用することにより救命効果が高いとされる「30分以内での救急医療提供体制」を確立し、救急搬送業務を実施している。

（令和5年度運航実績）

名称	出勤回数	府県別実績			
大阪府ドクターヘリ	132回	大阪府 74回	滋賀県 4回	京都府 42回	奈良県 2回
3府県ドクターヘリ	1,717回	兵庫県 1,132回	京都府 284回	鳥取県 301回	
徳島県ドクターヘリ	467回	徳島県 458回	兵庫県 3回	和歌山県 3回	香川県 2回
兵庫県ドクターヘリ	542回	兵庫県 542回	高知県 1回		
京滋ドクターヘリ	378回	滋賀県 349回	京都府 22回	福井県 7回	
鳥取県ドクターヘリ	566回	鳥取県 392回	島根県 151回	岡山県 6回	広島県 17回
和歌山県ドクターヘリ	548回	和歌山県 542回	大阪府 1回	奈良県 2回	徳島県 1回
合計	4,350回		三重県 2回		



関西広域連合管内のドクターヘリにおける整備措置事案について

令和6年11月21日

広域医療局

1 経緯

- ・ 国土交通省大阪航空局による立入検査等により、関西広域連合管内のドクターヘリ運航委託先である学校法人ヒラタ学園において、不適切な整備等が行われていたことが確認され、5月28日に大阪航空局からヒラタ学園へ事業改善命令等が出された。
- ・ ヒラタ学園においては、事業改善命令等を踏まえ、6月27日に再発防止策を大阪航空局へ提出した。
- ・ 広域医療局においては、6月7日に構成府県のドクターヘリ担当課長から構成する「再発防止対策チーム」を立ち上げ、ヒラタ学園における再発防止策の実施等をフォローアップしている。

2 再発防止策のフォローアップ

(1) 「再発防止対策チーム」の活動状況

第6回会議（11月5日）

- ・ ヒラタ学園から再発防止策の実施状況を聴取した（別紙）。

(2) 再発防止策の実施状況（前回報告からの主な進捗）

ヒラタ学園において、大阪航空局の指導のもと、

① 安全管理体制の再構築

- ・ 新たな整備管理システムを開発、1月より順次、運用開始

② 安全意識の徹底及びコンプライアンス教育の実施

- ・ コンプライアンス研修を実施済（計6回）、11月22日に7回目を実施予定

③ 必要な予備品の配備などの整備体制の確保

- ・ 予備部品等・発注済（1億円分）、更に追加発注予定
- ・ 豊岡基地の整備基地化に要する工具を購入、配備予備品・内容協議中
- ・ 大手航空会社の品質管理業務経験者を11月に品質管理課長に任命
- ・ 8月以降、整備士4名を新規採用、更に来年4月までの2名採用を決定
- ・ 今後の安定した予備機の確保計画 など

再発防止策が進められていることを確認した。

3 今後のスケジュール

引き続き、「再発防止対策チーム」において、ヒラタ学園における再発防止策の実施状況を確認する。

大阪航空局 事業改善命令（講ずべき措置）	ヒラタ学園 再発防止策	実施状況（2024年11月5日時点）
安全管理体制の再構築	オペレーション室の創設	オペレーションチームを設置し、暫定運用中（6月～） →令和6年度中にオペレーション室を設置し、運用開始予定
	学園内の体制再構築	関係職員への処分（交代・降格など）を実施済（6月）
	経営者の権限の移譲	航空事業本部長へ権限付与済（6月）
	内部監査の強化	内部監査委員へ規程関係の教育実施済（6月）
	整備管理業務の外部支援	整備管理システム会社から外部支援を受け、 整備管理職員の業務負担を軽減（7月～） 新たな整備管理システムを開発中（6月～） →令和7年1月より順次運用を開始し、同年3月に完成予定
安全意識の徹底 及びコンプライアンス教育の実施	職員向け教育の実施	社内講師によるコンプライアンス教育を職員へ実施済（6月） 外部講師によるコンプライアンス教育を経営者・職員へ実施済（6～7月） →更に社外講師によるコンプライアンス教育を経営者・職員へ 実施予定（11月・2～3月）
	経営層向け教育の実施	
必要な予備品の配備などの 整備体制の確保	必要な装備品の確保	通年運航に必要、又は過去の不具合事例等から必要と考えられる 予備品（1億円分）を発注済 →更に追加で予備品（1億円分）を発注予定
	ドクターヘリ駐機場所の 整備基地化等	まずは豊岡ドクターヘリ基地について、配備する工具を購入済、予備品を検討中
	品質管理課の設置	専属の担当者を配置済（6月） 大手航空会社の品質管理業務経験者を出向で受入れ、 品質管理課長として業務開始（11月～）
	整備士のリソースの確保	一部の整備業務をメーカーへ外注（6月～） 整備士の採用を計画的に実施中（4名を採用済）
	MELMANUAL（運用許容基準）の 適切な運用	基準の新規設定及び改訂を進め、大阪航空局へ提出済（8月）
	整備規程の改訂	不具合発生時の処置がスムーズかつ確実にできるよう変更検討中

広域連合長選挙次第

令和6年11月21日
本部事務局

- 1 開始
- 2 候補者の確定（立候補、推薦）
- 3 選挙の実施
- 4 当選人の確定

関西広域連合長の選挙に関する規則

平成 24 年 11 月 22 日
関西広域連合規則第 16 号

(趣旨)

第 1 条 関西広域連合（以下「広域連合」という。）の広域連合長の選挙については、関西広域連合規約（平成 22 年総行市第 250 号。以下「規約」という。）第 13 条第 1 項及び第 2 項に規定するもののほか、この規則の定めるところによる。

(選挙を行う期日)

第 2 条 広域連合長の任期満了による選挙は、広域連合長の任期が終わる日の前 30 日以内に行う。

2 任期中に広域連合長が欠けた場合における広域連合長の選挙については、これを行うべき事由が生じた日から 30 日以内に行う。

(選挙の実施)

第 3 条 広域連合長の選挙は、広域連合委員会の場において、構成団体の長が互選により行う。

(選挙の手順)

第 4 条 広域連合長の選挙を行うにあたり、構成団体の長は、自ら候補者になろうとし、又は候補者となるべき者を推薦しようとする場合は、その旨の表明をするものとする。ただし、広域連合委員会に出席できない場合は、あらかじめ書面による表明を提出することができる。

2 前項による候補者が確定した後、次のいずれかにより選挙を行う。

(1) 候補者が複数の場合、当該候補者のうちから投票による選挙を行う。

(2) 候補者が 1 名の場合、当該候補者をもって当選人とする。

(投票を行う場合の手順)

第 5 条 前条第 2 項第 1 号による投票を行う場合は、当選人とすべき者の氏名を所定の用紙に自書し、又は当選人とすべき者を指名して挙手することにより投票を行うものとする。

2 前条第 2 項第 1 号による投票において、構成団体の長が広域連合委員会に出席できない場合は、関西広域連合委員会運営規則（平成 22 年関西広域連合規則第 3 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき出席する代理人が構成団体の長の指示に従い、投票するものとする。

3 当選人は、有効投票の最多数を得た者とする。ただし、有効投票の総数の 4 分の 1 以上の得票がなければならない。

4 最多得票数が同じ者がある場合は、これを候補者として、再度、投票を行う。

(選挙期日の繰延)

第 6 条 天災その他避けることのできない事故により第 2 条に規定する選挙期日に選挙を行うことができない場合は、あらためて期日等を定めて速やかに選挙を行う。

(選挙の事務)

第 7 条 選挙に関する事務は、本部事務局長が行う。

(補則)

第 8 条 この規則の施行に関し必要な事項は、必要に応じ広域連合委員会に諮り、広域連合長が別に定める。なお、細部にわたる事項は、広域連合長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成30年11月21日規則第7号）

この規則は、平成30年11月21日から施行する。